

7 東京都立夢の島総合体育館

TOKYO METROPOLITAN YUMENOSHIMA SPORTS CENTER

所在地／東京都江東区夢の島 3-2

建築主／東京都

設計者／株式会社 坂倉建築研究所

施工者／清水建設株式会社

竣 工／昭和51年10月

Location／Tokyo

Owner／Tokyo Metropolitan Government

Design／Sakakura Associates, architects and engineers

Contractor／Shimizu Construction Co., Ltd.

Date of Completion／October, 1976

●選 評

近 江 栄
郡 菊 夫
伴野三千良

ちかごろわが国の流行現象ともいえそうなレジャー施設、たとえばアスレティック、スイミング、テニスなどのクラブは、驚くほど高い入会金や利用料を支払う会員制によるものが目立っている。しかし公共施設として、家族や友人同志あるいは個人が、日曜や祭日にも気楽に利用できて、しかも快適な設備を整えているものはきわめて少ない。

この総合体育館の設立された夢の島は、かつて経済成長期には、東京都民が排出する塵芥の集積処理場としてのみ知られていた。しかし近年に至りようやく夢の島全体の総合計画が促進され、この体育館は単体としてだけではなく、公園や第五福龍丸被爆記念館などを含めて、イメージアップが図られた成果である。“開かれたプランニング”という設計者の意図は、公共施設として訪れる誰をも拒まず、低利用料金で自由に遊歩道の延長として歩き回り、休息もできる雰囲気巧みに演出されている。

この体育館の印象的な形態、つまり大プールとふたつの体育室、大小三つのシリンドー・ボルトの覆う空間は、まさにスポーツに適合する空間であり、これらの屋根は、塩害や煤煙などを考えすべてコールテン鋼（耐候性高張力鋼板）を大胆に採用している。この設計上の意志決定が、風景として隣接する既存の塵芥焼却炉と奇妙な一体感を醸成しているのは興味深い。

この総合体育館に設けられたプールをはじめアスレティックなど各種目にわたる諸設備は、正式の競技用、あるいは観客として見るというより、自分がトレーニングをし、プレイを楽しむ雰囲気工夫されている。とくに入口の吹抜けロビー空間は、公会堂や美術館に見られるよ

うな豊かな楽しい変化があり、各種内部空間の多様な機能が巧みに配置されている。

しかし外観の印象は基盤部分と、シリンドーボルト部分とからなる、きわめて単純にして明快な構成にまとめられている。

また、この体育館のレストランから広々とした東京湾の眺望はとくに素晴らしいが、このレストランは、夢の島公園のレストランでもあり、また近隣コミュニティのレストランとしての機能も意図されている。近隣には巨大な高層団地を控えているだけに今後の利用率の上昇が大いに期待されるところである。

この体育館の温水プールや給湯用の熱源は隣接の塵芥焼却炉のボイラー熱を再利用するもので、設備費および機械室スペースの縮小などきわめて有利な条件となっている。さらに建物内外に配慮された身障者のためのスロープなどが巧みな演出の要素としても機能しており、きわめて密度の高い設計となっている。

この夢の島総合体育館は、失われたウォーターフロントを人間のための空間として環境の改善に貢献している。

また施工は、公共建築として限られた予算の範囲内で工費の配分に十分意をつくし、設計者の期待に対応し得ている。

一般市民を対象とする公共レジャー施設の望ましい水準を示す作品として推奨に価するものである。

REVIEW

Sakae Ohmi
Kikuo Koori
Michiyoshi Tomono

For the past few years, it has been fashionable in Japan to join private athletic, swimming, tennis or other leisure and sports clubs that demand shockingly high entrance fees and dues. The number of publicly operated sports facilities where families, friends, or single individuals can enjoy themselves with a complete range of sports equipment, however, is very small.

Yumenoshima (Dream Island), in Tokyo Bay, was formerly known only as a trash dump for the city. At last, however, a general redevelopment plan for the island has been evolved to include not only this general sports center, but a public park and an exhibition hall for a ship called the Fukuyu-maru as well.

The open-planning approach results in a mood that welcomes all comers. The congenial atmosphere, the outcome of the architect's skill, is further intensified by the low costs and by the freedom with which people can stroll about or rest on the grounds.

The huge semicylindrical-vault roofs covering the main swimming pool and the two gymnasiums are highly impressive. Taking into consideration the danger of damage from salt winds and smoke, the designers have used only weather-resistant steel in the roofs. The design of the sports center strangely harmonizes with the older refuse-disposal plant nearby.

The facilities are planned to encourage active participation instead of spectator sports. The high-ceilinged entrance lobby has the kind of abundant and pleasing spatial variety often seen in public auditoriums or art museums. All of the various interior functional spaces are skillfully placed. The exterior is a clear, simple combination of the foundation section and the semicylinder vaults.

The restaurant, which commands a wonderful view of Tokyo Bay, serves not only the gymnasium, but Yumenoshima Park and the surrounding community as well. The completion of an immense housing development nearby will certainly increase the numbers of people using the sports center.

Recycling of thermal energy from the boilers of the refuse-disposal plant heats water for the general functions of the gymnasium and for the swimming pool, thus greatly reducing equipment costs and machinery.

One example of the thoroughness of the planning is the skill with which ramps for disabled persons in wheelchairs have been included as functioning and harmonious elements inside and outside the building. All of this was made more demanding for the architect because of the severely limited budget of a public facility.

The Yumenoshima Sports Center makes an important contribution to the creation of a better living environment for citizens of a city that has lost most of its enjoyable waterfront.

●概 要

建築概要	
敷地面積	26,106㎡
建築面積	9,666㎡
延床面積	12,529㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造、鉄骨造
	地下1階、地上2階

仕上げ概要

外装 屋根：耐候性高張力鋼板ウェザーコート
プレバレン処理瓦棒葺き（A B C D棟）アクリル樹脂系塗料焼付け塗装アルミ板瓦棒葺き（E棟）アスファルト防水軽量コンクリート押え柵器質タイル 150角貼り（エントランスプラザ、ベデストリアンデッキ）／外壁：コンクリート合板型枠表面樹脂加工打放しウレタン樹脂系カラークリヤー塗装／建具：アルミ製建具電解着色、鋼製ドア S O P 塗装

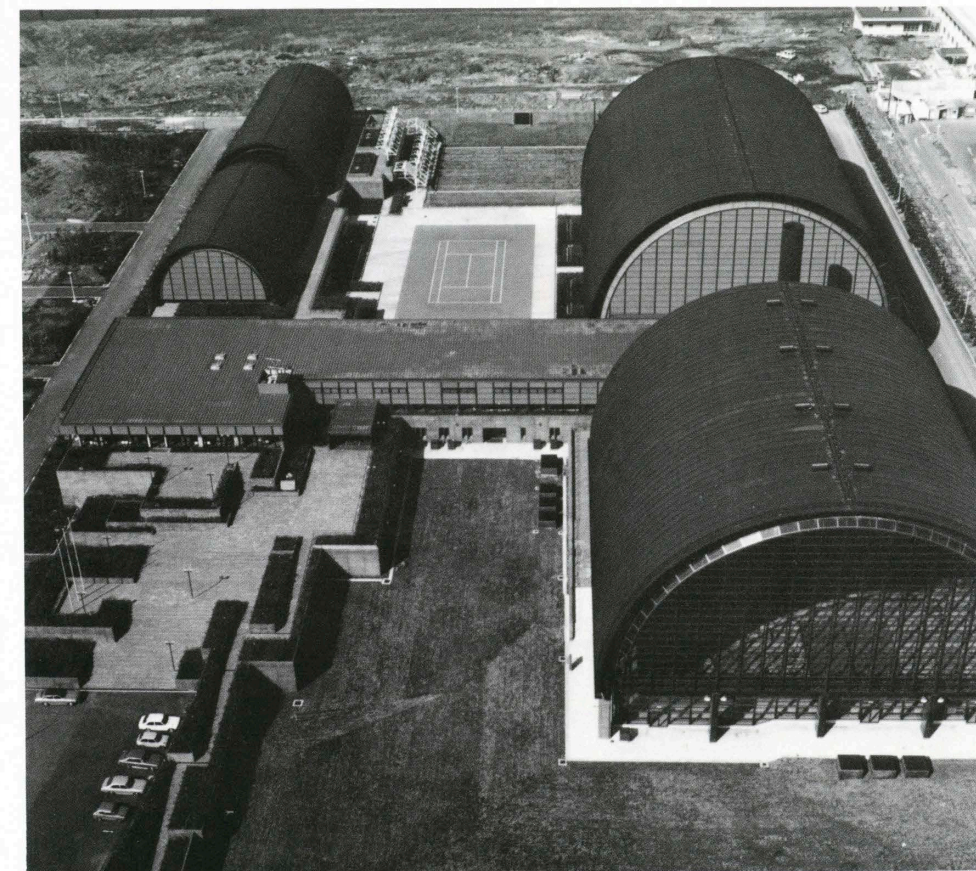
内装 第1体育室 床：鋼製床下地、ラワンベニア1枚貼り、カバザクラフローリング特殊貼り、ポリウレタン樹脂塗装 壁：シナ有孔合板2枚貼り、S O P 塗装 天井：スチールエキスパンドメタル、亜鉛メッキ、グラスウール（32kg／㎡）／プール 床：エポキシ系耐摩耗性カラー舗装 天井：石綿セメント板 V P ／ロビー床： 150角柵器質タイル貼り 壁：コンクリート合板型枠表面樹脂加工打放しウレタン樹脂系カラークリヤー塗装、天井：石膏ボード12 S－Emp(1階)、グラスウール(20kg／㎡) 有孔石綿セメント板 V P 塗装（2階）

設備概要

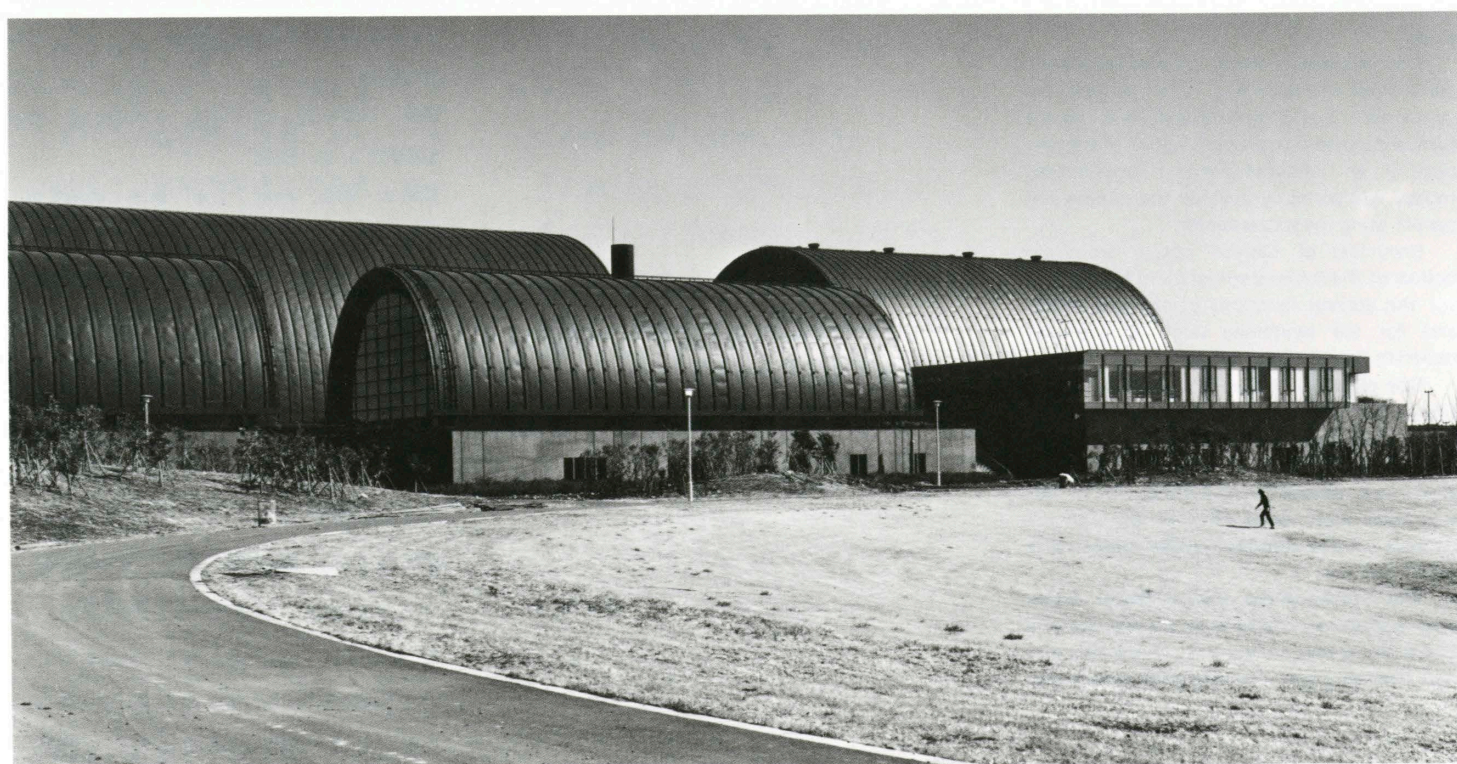
電気 受電3相3線／電話、火災報知器、時計、監視用テレビ、放送

給排水・衛生 給水：上水 給湯：清掃工場の余熱利用 排水：汚水と雑排水の分流方式

空調 単一ダクト方式（4系統一部ファンコイル併用） 熱源：冷暖房とも清掃工場の余熱利用および吸収式冷凍機 排煙：自然排煙（一部機械排煙）プール回り：フロアヒーティング
消火 スプリンクラー メタンガス感知警報装置



上空よりみる Aerial view.



西よりみる View from the west.

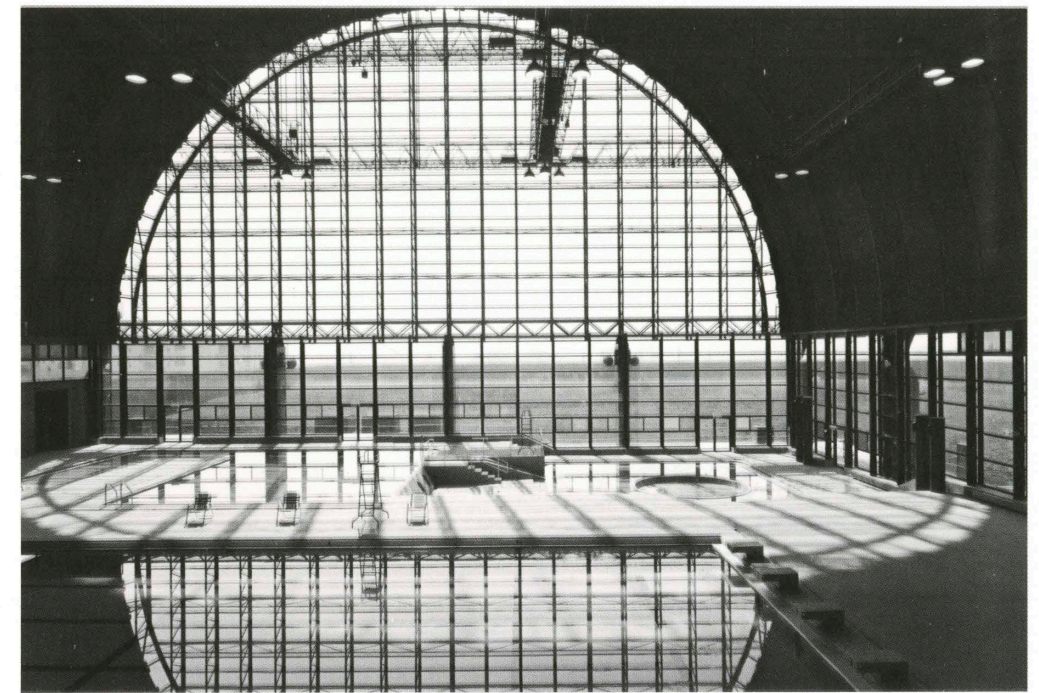


アプローチ Approach.



エントランスホール Entrance hall.

1階ラウンジ First-floor lounge.



室内温水プール Swimming pool.



第1体育室 Gymnasium no. 1.

第2体育室 Gymnasium no. 2.

